

平成30年度「学校を核とした地域1000カ所ミニ集会」報告

今年度、初めての試みとして白山中学校区3校合同でPTAと「ミニ集会」を11月9日に3校合同で白山中学校体育館を会場にして開催した。多くの地域の方々保護者の皆様から、率直な意見をいただいた。以下が、要約した内容である。

1 白山中学校長挨拶 参加して頂いたお礼と9月に「おやじの会」主催で行った避難所宿泊活動の紹介。地域と学校の共同活動の活発化について。

2 グループ討議報告

① 登下校の安全パトロール(安心安全)

- ・一小学区では、多くのボランティアの方に立っていただいている。我孫子警察地域課の方も朝の見回りが増えてきている。
- ・四小は、6カ所保護者が当番制で低学年児童の時間に合わせて立っていただいている。仕事のある方は、できない時がある。
- ・PTA活動として四小では校外委員がなくなり学校との関わりが減った様に思う。
- ・白山門付近は、児童生徒で混み合う。歩道からはみ出してしまう。
- ・交通整理の時交差点でウインカーをなかなか出さない車に困っている。
- ・安全指導の時、あいさつしたり、標語をつかって教えていたりしている。一人で登下校しない事を話や傘をさす時の注意をしている。特に空き家のブロック塀が心配である。
- ・学校でも、地域保護者の方と歩調を合わせ登下校の指導をしていく。
- ・信号を守れない児童がいる。道路のぎりぎりでおしゃべりしている。
- ・今まで以上に地域の方やシルバー人材の協力の安全指導の協力を得られないか。
- ・教室では「いけない」というのはわかっているが、実際には守れない。
- ・挨拶が返せない児童がいる。
- ・学校からパトロール内容について具体的に伝えて欲しい。
- ・我孫子「子ども見守り隊」で協力して、他の方の負担を減らしたい。
- ・ワンワンパトロール(ペットの散歩)時間帯を下校時間に合うようにすることもできる。

② 地域人材を学校教育にどう生かすか

- ・核家族化が進んでいる今、おじいちゃんおばあちゃんから、昔の文化を子ども達へ伝えていかななくてはいけないと思う。
- ・地域のパトロール、見回り等の沢山の人材がいるので活用していくとよい。
- ・地域の方は、折り紙や卓球など、自分ができることで子どもと関わりたいと思っている。
- ・高齢の方を巻き込んで何かできるといいね。
- ・学校が思っている以上に地域の方は「何かをしたい」と考えている。学校と地域をつなぐ手立てを考えていくことが必要だ。
- ・部活動のコーチに地域の方を活用してはどうだろう。白山地区には多才、一芸に富んだ方がいるのではないかな。
- ・町内会と学校のつながり、つながる機会があまりないので、工夫が必要だ。
- ・我孫子の歴史を学んで我孫子を好きになって欲しい。先人の知識を子ども達へ伝えよう。

③ PTA同士の連携 (おやじの会の連携)

- ・白山中学区のおやじの会が発足した。合同の震災体験キャンプは有意義であった。
- ・災害時に、学校が避難場所となった場合、教員でなく地域が支えるべきと考える。
- ・SNSや携帯電話・スマートホン等の使い方をPTAではなく専門的な知識を持っているおやじの会のメンバーが行うと良い。
- ・PTAとは違うおやじの会が主催する行事を是非やって欲しい。
- ・地域の力を学校に生かす(たとえば、おやじの会でプログラミング学習を行う)工夫が大切。
- ・スポーツ行事、イベントで協力してやっていきたい。

④ 地域行事と学校教育

- ・部活動の土曜日や日曜日の活動自粛・業務改善の流れから地域行事への参加が少なくなってきた。学校で再検討していきたい。
- ・生活科の授業に地域の方が参加しているのは素晴らしい。ここでの出会いから、通学路での挨拶がスムーズになる。是非この活動は続けて欲しい。
- ・第四小学校の吹奏楽部全国最優秀賞や昨年の白山中学校駅伝部の全国優勝が素晴らしい。地域にもっと知って欲しい。
- ・地域のお祭りに先生が出てきてくれるのはとても良い。ただ、八坂神社の祭りは時期が中学校の葛南大会と同じで残念。
- ・中学生が、役割を持って地域行事に参加できると良い。
- ・地域防犯パトロールに中学生が参加しても良いと考えるが、塾への参加割合が多く難しいのではないかな。
- ・ピアノを習っている子が多いので、発表会を行事にするのも良いかもしれない。
- ・子ども食堂を、学区の中で月2回行っている。先生達にも見てもらいたい。

⑤ 携帯電話・スマホのルールづくり

- ・あくまでも親が子どもに貸しているものなので、必要な時にしか使わない。
- ・ルール作りが大切。何に使っているか親が知っている権利がある。子どもが勝手に使うものではない。
- ・実際にユーチューバーに会いに行く事件があった。子ども達は、危険性の認識が少ない。
- ・幼児がスマホを見たりユーチューブを見たりする時代。家庭の価値観が大事である。
- ・何歳で持たせて、何歳でどこまでなどはっきりしたものを。子ども自身が、自分でセーブが出来ず学習が出来ない。
- ・学校と家庭が連携して、同じ歩調で指導していかなくてはいけない。
- ・いじめなどのトラブルの温床になるLINEの開示は、親の協力が必要である。
- ・学校でもしっかり注意するが、家庭での指導が一番大切である。

3 まとめ言葉 (PTA会長)

我孫子第四小学校長 今日参加して下さった皆様方が、地域の大切な人材であると感謝している。
白山中学校PTA会長 地域で活躍する我が学校を誇りに思い、学校の活動を支援したり活躍を広めていったりしていきましょう。